

検討テーマ③ 「まちの魅力を見つける」

■現状及び課題の把握

区民会議では、郷土の歴史について研究している「中原歴史散歩の会」の中山博夫氏をゲスト講師に招き、区の魅力を見つけるヒントを学び、委員が事前に提出したアンケート結果を基に意見を交換しました。課題調査部会では収集した区の魅力の調査・検証し提案事項をまとめ、区民会議で課題解決に向けた取り組み事項（下記参照）として地域で推進していくことを決定しました。

区民会議委員があげた「まちの魅力」 ※一部を紹介します



地域の中で大切に守り、次世代に伝えて生きたい魅力

- 多摩川の自然
- 二ヶ領用水の桜・桃並木
- すみよい街（あいさつのできる街）など

二ヶ領用水竣工400年を記念した 魅力の発信

平成23年3月に迎える竣工400年に向けた記念事業を地域と協働で実施します。二ヶ領用水の沿岸に長くお住まいの方の話などを集めたガイドブックの作成や、「歴史と緑の散歩マップ」を改訂し、地域資源である二ヶ領用水の歴史的価値の再認識を図り、その魅力を広く発信していきます。

第2期

中原区 区民会議 報告書 (概要版)

委員
稲富 正行
大下 由典子
川連 昌久
佐野 愛子
杉野 茂彦
鈴木 眞智子
竹井 希
葛岡 茂太郎
内藤 幸彦
芳賀 辰之
藤枝 重之
藤崎 とみ子
本目 さよ
松原 清一
松本 玲子
村山 十九男
矢野 和昭
山川 哲生
横川 郁子
吉房 正三

■中原区区民会議の審議の流れ

区民会議は、地域の課題を区民が主体となって地域で解決するためにどうすればよいかということ話し合う会議です。

■課題解決に向けた地域の取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
会議の取り組み 地域・区民・区民	まちの魅力の発信・共有	区民会議委員があげた魅力を区民会議ホームページや委員の出身団体の情報媒体等で紹介することにより、多くの方に中原区の魅力を知ってもらい、郷土意識の醸成につなげていく。(区民会議委員が選んだ魅力ポイントマップの公表)	区民会議
区民と行政の協働による取り組み	写真によるまちの魅力の発信・共有	区民会議での議論を受けて、中原区市民提案型事業において、「まちの魅力の発信・共有」をテーマにしたフォトコンテストを企画・実施する団体を募集し、多くの人へ中原区の魅力発信していく。	中原区役所 区民会議 各団体
	中原区魅力紹介冊子による魅力の発信・共有	平成20年度市民提案型事業「中原区観光ガイド育成講座」の報告書を、区民会議と連携し、区内の魅力紹介や魅力発信のツールとなるよう持ち歩き出来るような形で編集し、配布する。新たに中原区に住むことになった方などに、中原区の魅力や郷土意識の醸成につなげていく。	中原区役所 なかはら散歩ガイドの会 区民会議 各団体

区民会議(全体会議)

【審議事項】

- ・検討テーマの現状把握
- ・検討テーマの解決に取り組む地域活動の紹介
- ・検討テーマの解決に向けた意見交換

区民会議(全体会議)

【審議事項】

- ・課題調査部会の審議報告
- ・検討テーマの解決に向けた取り組みを提案
- ① 区民会議(委員) 地域 区民の取り組み
- ② 地域と行政(区役所)の協働による取り組み
- ③ その他の取り組みや課題

運営部会 (審議事項)

- ・検討テーマを選定
- ・検討テーマの地域での活動事例を検討

課題調査部会 (審議事項)

- ・検討テーマの解決に向けた意見整理
- ・検討テーマの解決に向けた取り組みを検討

運営部会 (審議事項)

- ・課題調査部会の審議報告
- ・区民会議運営検討

①検討テーマの選定

地域が抱えている様々な課題について、区民会議委員が日々の活動を通して検討する必要があると考える課題、区役所が英略を通じて把握した課題、区民から寄せられた課題の中から、緊急性や顕著性を勘案して運営部会で選定します。

②検討テーマに関する現状及び課題の把握

検討テーマとなった事項について、地域で具体的に実行されている取り組み等を手掛かりに、そのテーマの現状や克服すべき課題等の調査を行い、検討用資料等を作成します。

③区民会議における審議、検討

現状や課題の調査や資料などに基づいて、課題の解決策や地域での取り組みの在り方などを検討します。

④地域社会での取り組み

会議での検討を踏まえて、委員及び区役所は課題解決に向けた取り組みを推進します。

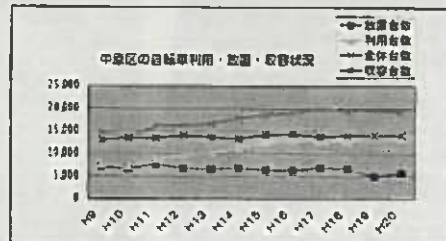
⑤市長および区長への報告

区民会議の2年間の活動結果について、市長及び区長に報告します。

検討テーマ①「地域で取り組む放置自転車問題」

■現状及び課題の把握

区民会議では、区内の放置自転車の現状(右記参照)を把握し、地域で課題解決に向けて取り組む団体やその活動を紹介するとともに、「なぜ、放置自転車が多いのか」「放置自転車を減らすためにはどうすればいいのか」について意見交換を行いました。その後、課題調査部会で課題解決に向けた取り組みについて検討し、この検討結果を基に、全体会議で「放置自転車問題の解決に向けた具体的な取り組み事項(下記参照)」をまとめました。



- ① 自転車全体台数は増えている
- ② 駐輪場の利用台数も増えている
- ③ 放置自転車台数は10年前と比較してほぼ横ばい状態

■課題解決に向けた地域の取り組み



「放置自転車のないまち」通信・ポスターの作成

自転車と共生するまちづくり委員会と共同で、「放置自転車のないまち通信」、啓発ポスターを作成し、中原区町内会連絡協議会を通じて各戸回覧やポスターの掲示をしました。

とどろき水辺の楽校での講習会

(協力 自転車と共生するまちづくり委員会)



とどろき水辺の楽校では、多くの子ども達に自転車の交通マナーについて考える機会をもってもらおうと、自転車と共生するまちづくり委員会の委員を講師に招き講習会を実施しました。

■課題解決に向けた取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・区民会議の取り組み	自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動	①啓発用チラシ、ポスターを作成し、中原区町内会連絡協議会を通じてチラシの各戸回覧やポスター掲示について協力を依頼する。 ②中原区町内会連絡協議会、各町内会・自治会の会合等でマナー・モラル啓発活動をアピールする。必要に応じて、説明者(講師)を派遣する。	各町内会・自治会 中原区町内会連絡協議会 自転車と共生するまちづくり委員会 区民会議
	若い世代に向けた啓発活動の実施	子どもや子育て世代に関連の深い団体を通じて啓発用チラシを会合などで参加者に配布する。必要に応じて、説明者(講師)を派遣する。	自転車と共生するまちづくり委員会 とどろき水辺の楽校
	駅周辺の商店街における放置自転車対策の取り組み促進	新丸子駅周辺商店街をモデル地区として、商店街における放置自転車対策を行っていく。その後、順次、他の商店街に展開していく。	丸子地区商店街連合会 中原区商店街連合会

検討テーマ②

「これからの地域コミュニティづくりを考える」

■現状及び課題の把握

武蔵小杉駅周辺地区の再開発事業や大型住居の建設により約15,000人の人口増が見込まれている中原区において、地域コミュニティの形成が課題となっています。

区民会議では、地域での人と人とのつながりを深め、地域の様々な課題を解決する「地域の力」を高めていくためには、どのような取り組みや活動が有効であるかということについて検討を行いました。課題調査部会を中心に検討を行い、「地域コミュニティづくりに向けた具体的な取り組み事項(下記参照)」を決定しました。



事項(下記参照)」を決定しました。

■課題解決に向けた地域の取り組み 「あいさつ」ポスターの作成



区民会議では、「あいさつ」の実践によるコミュニティづくりを進めています。
市民活動団体「中原区まちづくり推進委員会」が毎年行っている「区内小中学生マナー・モラルアップポスター展」と協力し、区内の小中学生が描いた絵を用いて啓発ポスターを作成しました。

■区民と行政の協働による取り組み 中原区地域交流促進イベントの開催

JR横須賀線武蔵小杉駅開業を一つの契機に、再開発が進む武蔵小杉駅周辺において地域住民同士の交流を促進し、地域の活性化を図ることを目的に開催しました。



■課題解決に向けた取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・区民会議の取り組み	地域コミュニティの場の創出	町内会や商店街などにアンケートを行い、人々が集まることのできる場所や子どもの遊び場を見つけ出す。また、多くの人が集まるイベントもコミュニティの形成に効果的であるため、その情報も集約する。 集まったコミュニティの場となりうる情報を区民へ広報する。	区民会議 各町内会・自治会 中原区町内会連絡協議会 中原区商店街連合会 各団体
	「あいさつ」の実践によるコミュニティづくり	コミュニケーションの基本である「あいさつ」の実践を通して、より良い地域コミュニティづくりを目指す。 啓発用ポスター等を作成し、中原区町内会連絡協議会を通じて町内会の掲示板等にポスターの掲出について協力を依頼する。ポスターのデザイン選定にあたっては、中原区まちづくり推進委員会が実施する「区内小中学生マナー・モラルアップポスター展」と連携した取り組みとする。	区民会議 中原区まちづくり推進委員会 各町内会・自治会 中原区町内会連絡協議会 中原区商店街連合会 各団体
区民と行政の協働による取り組み	商店街コミュニティ事業の充実	商店街が地域の情報交換や交流の場となるよう、商店街と連携した取り組みを行う。具体的には、区内小・中学生が描いたマナーポスターを商店街に掲示する「マナーポスター展」や、商店街の店舗を会場とした料理教室などを主要事業として実施する。また、酒粕関係者との懇談会を開催し事業拡充のため研究・検討を行う。	中原区商店街連合会 中原区役所

取り組み事例

審議では、区制40周年の取り組みについては、「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマが提案されました。区民会議の成果を報告する市民報告会では、地域の魅力が伝わるようなシンポジウムや音楽会、展示などを行うこととしました。

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・ 区民会館の 取り組み	イベントの開催	市民報告会で区民会議の活動報告を行い、さらに中原の今昔や未来を語るシンポジウムや学校や企業を交えた音楽コンサートを開催する。	区民会議、学校、企業、その他
区民と行政の 協働による 取り組み	ミュージカルの公演	中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を公演する。	各団体 中原区役所
行政の 取り組み	シンボルマークの活用	シンボルマークを使った旗を作製し、区内のイベント等に活用するとともに、主たる掲揚場所として、等々力緑地内にポールを設置する。	中原区役所

中原区役所では、近年大きな変化を遂げているまち並みの様子を写真で記録にとどめ、区民の方が地元への愛着を持てるように、記念写真集の制作を行いました。



第4期区民会議の公募委員（4名程度）を募集します

5/25
必着

募集人数	4人程度
任期	平成24年7月1日から平成26年6月30日(2年間)
会議開催予定	年4回、主に平日 ※別途専門部会があります
応募資格	20歳以上(平成24年4月1日現在)で、区内在住・在勤・在学か区内で地域活動をしている人
応募方法	5月25日(必着)までに住所、氏名、電話番号、生年月日、性別、地域での活動内容・経験を記入し、小論文「区民会議の果たす役割と自分にできること」(1000字程度・書式自由)を添えて、直接か郵送で〒211-8570 中川区小杉町3-245 中川区役所企画課まで

中原区民会議報告書

第3期のご報告

第3期に検討したテーマの審議と
取り組み内容をご紹介します。



●区民が主体となり、地域課題を解決するために話し合う会議です

中原区民会議には、地域で様々な活動をしている団体からの推薦や、公募、区長推薦により選考された総勢20名の委員がいます。会議で検討された結果を地域や団体に持ち帰り、課題解決に向けた取り組みを広めています。



●さまざまな地域課題を検討テーマとして扱ってきました

検討テーマは、区民会議の委員が、日々の活動や生活を通して検討する必要があると感じる課題、区役所が業務を通して把握した課題、区民から寄せられた課題などの中から、緊急性や重要性を勘案して選定しています。

検討テーマ	
第1期	・地域で支える高齢社会 ・地域の安全・安心をどう守るか ・地域の中の商店街 ・地域に参加し、地域に学ぶ ・地域で取り組む環境対策
第2期	・地域で取り組む放置自転車問題 ・これからの地域コミュニティづくりを考える ・まちの魅力を見つける
第3期	・安全・安心のきずなづくりに向けて ・地域における子育て応援体制づくり ・中原区制 40 周年を迎えて

【委員】		【参事】	
青木不逞 坂本龍馬 大岡川 川村通野 川村鈴兵衛 石町寺富 芳崎松次郎 山崎松太郎 本山山崎		市岡田 市岡田 大井島 清水村 立原 東松川 松原成文 香岡佐祐	
英光 歌正 由治 グリス 昌彦 茂雄 清玲 十和 哲正	行子 美子 ティス 彦智 寛子 太郎 とみ子 九郎 三三	映倫 裕司 百格 勝 千秋 典之 正則 成文 佐祐	(※H23.5.3から) (※H23.5.3から) (※H23.5.2まで) (※H23.5.2まで) (※H23.5.3から)
■神奈川県議会議員		■神奈川県議会議員	
		河田孝徳 田嶋久是 徳安明 白浦	(※H24.1.7まで) (※H23.4.29まで) (※H23.4.30から)

発行：中野区民会館 編集：中野区民会議事事務局（中野区役所企画課）
所在地：中野区小杉町3-245 電話：044-744-3149 FAX：044-744-3340 メール：65kikaku@city.kawasaki.jp

安全・安心のきずなづくりに向けて

現状及び課題の把握と、審議内容

取り組み事例

区民会議委員の中で最も関心の高いテーマが「安全・安心のきずなづくりに向けて」です。防災に関する身近な制度について説明を受け、区民会議委員が考える取り組みのアイデアについて意見交換しました。その後、地域での防災訓練などの実施状況や区民意識を調査し、解決に向けた取り組みを検討しました。

審議では、「自分の身は自分で守る」備えを行っている人がどれ位いるのかや、防災訓練の参加者数や実施方法など実態を把握する必要があるなどの意見が出ました。これらの審議をうけ、第3回区民会議で、「安全・安心のまちづくりに向けた具体的な取り組み事項」をまとめました。

■ 中原区防災フェアの開催

平成23年11月5日に自主防災組織と区役所の共催で中原区防災フェアを開催しました。災害救助資器材や防災資器材の展示や、「減災」をテーマとした防災講演会を実施しました。

東日本大震災の影響もあり、区民の関心も高く、多くの人で賑わいました。

■ 防災紙芝居の実施

中原区役所では「市民提案型事業」として「防災意識向上事業」を実施し、「防災紙芝居」の提案を受けました。これは災害時への備えをわかりやすく解説し、防災へ関心を持ってもらおうというものです。

この紙芝居は、区民の皆様イベント等で活用してもらうため、区役所で貸し出しをしています。



課題解決に向けた取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・区民 会議の取り組み	区民の 防災意識の向上	区民会議委員出身団体や地域の方が運営する子育てサロンなどで「ぼうさい出前講座」を開催し、防災意識を持ってもらうようにする。 	区民会議 各地区子育て支援推進委員会 各地区民生委員児童委員協議会
区民と行政の 協働による 取り組み	防災訓練 未実施地区 での訓練実施	自主防災組織に訓練の必要性を認識してもらい、訓練未実施地区に対して、訓練を計画的に実施する準備を行っていく。	自主防災組織 学校、PTA、中原区役所
行政の 取り組み	若い世代に 向けた 防災情報の発信	「中原区子育て情報ガイドブック」へ防災情報を掲載し、若い世代の防災意識向上につなげる。 	中原区役所

地域における子育て応援体制づくり

現状及び課題の把握と、審議内容

取り組み事例

中原区は小杉駅周辺の再開発などによる人口増加に伴い、若い世代の人口も増えています。また、出生数・出生率ともに平成17年以降増加が続いています。

区民会議では、区で展開されている子育て支援策の整理を行い、「今ある制度を拡充するのか」「足りない分野を捕うのか」などに論点を絞り、意見交換を行いました。

審議では、子育て中の方の支援ニーズを把握する必要があるとの意見で一致し、具体的にどのようなアンケート項目が必要か話し合いました。また、世代間で交流し、住民同士の絆を深める取り組みが必要との意見も出たため、多世代交流できるイベントの実施も決定しました。

■ 子育てアンケートの実施

区民会議では、子育て世代の方々がどのような子育て支援を必要としているかを把握するため、子育てアンケートを実施することにしました。アンケートは区役所の乳幼児健診を受診するために来所する保護者を対象とし、平成23年10月から12月の間、537名の方にご協力いただきました。



■ 子育てふれあいカフェの開催

平成23年10月21日に区役所本館横のウッドデッキで「子育てふれあいカフェ」を開催しました。このイベントは、地域で子育て中の区民が孤立しないように交流の場を設け、地域とのつながりを深めることを目的としています。当日は、健診を受けた親子に大勢立ち寄ってもらうことができ、幼児食の試食や音楽ミニライブを楽しんでくれました。



課題解決に向けた取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・区民 会議の取り組み	子育て世代などの 区民のニーズ把握	中原区の子育て世代の支援ニーズを把握するために区役所の健診や、区民祭などのイベント開催時に合わせてアンケート調査を行う。	区民会議
区民と行政の 協働による 取り組み	多世代交流 の場づくり	区役所の健診や、区民祭などのイベントの開催時に合わせて、区役所のデッキ等も活用しながら子どもからお年寄り、父親も気軽に参加できる多世代の交流の場づくりを行う。併せて子育てを応援するPRや、情報発信を行う。	区民会議
行政の 取り組み	情報提供の あり方の検討	ホームページや広報誌などの子育て支援情報をまとめた情報メディアのあり方を検討する。	区民会議 中原区役所